

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0904008

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費:320千円 計画内容:街灯補助
基本施策	4	商工業の振興	事業優先度	B		
単位施策	3	住民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	大通り商店街協同組合運営費補助事業		見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課	#N/A		
事業指標	組合の安定運営			#N/A		
事業目標	1組合		ハート/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	2		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 20 年度 事 業 内 容	平成 21 年度 事 業 内 容	平成 22 年度 事 業 内 容	平成 23 年度 事 業 内 容	平成 24 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	大通り商店街協同組合に対する運営費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・ 街灯費補助				
	事業費(千円)	1,600	320	320	320	320
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,600	320	320	320	320	
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,600	320	320	320	320	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)					
	【評価・実績】	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)
		※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	1組合	1組合	1組合	1組合
		年度達成率	100%	100%	100%	100%
	全体達成率	20%	40%	60%	80%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	大通り商店街協同組合運営費補助事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町大通り商店街協同組合	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	組合員数	
【抱える課題やニーズは】	組合員の減少(廃業等)、組織体制の強化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	空き店舗の活用等により、商店街の活性化を図る。	① 補助団体数	目標年度	平成24年度
			目標値	1団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	商店街活性化による組合員数増(組織強化)	②	実績値	1団体
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	街灯電気料の補助	街灯電気料金に対する補助	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本来は自助努力により街灯費の負担を行うべきであるが、組合維持運営に係る経費増から困難であり、夜間の防犯上、商店街の集客上、公共性の高いものと判断されることから、町による補助が必要である。さらに、自治会への街灯費補助との関連も視野に入れ、必要と判断される。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	これまでに商店街での犯罪が少ないこと、限られた予算においてサンパロットまつりの開催や冬期イルミネーションの設置による街並み装飾・植栽等の活動を行っていることを鑑み、有効と判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	街灯料金に対する補助であることから、過剰なコストが発生する余地は無いが、将来的には省エネ街灯(LED)導入によるランニングコスト抑制について検討を要する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

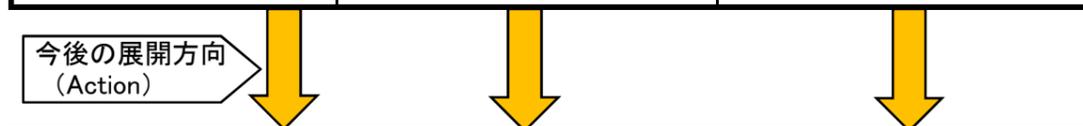
公平	判断の理由	各自治会への街灯電気代補助に準じたものであり、公共性の高い場所であることから、概ね公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公共性の高い場所にある街灯の料金補助であることから、現行の措置を継続する必要がある。		



継続/現状維持		
対象が公共性の高い場所であることから、現行の措置を継続する必要がある。また、商店街活性化について何らかの取り組みを行うよう働きかける必要があると考える。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止